

ぼくの自まんの歯

成田市立加良部小学校 三年 山川 諒陽

ぼくには、十二才のお姉ちゃんと七才の妹

と二才の弟がいます。みんな、今まで一回も

むし歯になつたことありません。どうして、

むし歯になつたことがないのか考えてみたら、

ぼくは、歯みがきをきちんとしているからだ

と思ひました。ぼくの家は、歯みがきを三分

間するときめられています。その後に、お父

さんかお母さんが、みんなに、かならず、し

上げみがきをして、自分でみがきにく

いところを、ていねいに、みがいてくれます。

ぼくは、その時間が好きです。ぼくとお父さ

ん、ぼくとお母さん、二人だけのとくべつな

時間になるからです。これからも、この時間

を大切に、歯みがきをしたいです。

この作文を書いたら、お姉ちゃんに、

「歯みがきをきちんとして、いる人でも、むし

歯になる人もいるよ。」

と言われしました。そこで、お母さんに聞くと、

「むし歯の原いんは、むし歯きん、さとうな
どのとうしつ、歯のしつの三つあって、こ
れが重なった時に、むし歯ができるよ。」
と教えてくれました。それから、むし歯きん
は、赤ちゃんの時は口の中にいなくて、親な
どからうつるといふことも教えてくれました。
お父さんとお母さんが、ぼくの小さい時に、
むし歯きんが、うつらないように気をつけて
くれていたことを、はじめて知りました。ま
た、歯のしつは、歯のフツソをぬったり、フ
ツソ入りの歯みがきをつけて歯をみがくこ
とで、歯が強くなることも教えてくれました。
この作文を書いたことで、ぼくがむし歯に
ならないために、お父さんとお母さんが、小
さいころから気をつけてくれていたことを知
りました。お父さんとお母さんが、ぼくの歯
を大切にしてくれましたように、これからも、ぼ
くも歯を大切にしていきたいです。